

# 平成 30 年度 岡山県総合社会福祉大会 開催要綱

## 1. 趣 旨

少子高齢化や地域・家庭のつながりの希薄化が進むとともに、近年多発する災害への備えや社会的孤立、子どもの貧困などが社会問題になるなど地域社会を取り巻く環境は大きく変化しています。

国においては、すべての人々が、支え手側と受け手側に分かれるのではなく、それぞれが役割をもち、支えあいながら自分らしく活躍できる「地域共生社会」の実現をめざし、他人事になりがちな地域づくりを、自分のこととして捉えていこうという「我が事」、分野で縦割りになりがちな福祉を「丸ごと」受け止める体制づくりをキーワードに、改革が進められています。

こうした中で、県においては、全ての県民が明るい笑顔で暮らす「生き生き岡山」の実現を目指し、安全・安心、子どもの教育、子育て等の生活・福祉分野への配慮がなされた各種施策が展開されています。

併せて、「県民誰もがその人らしく、安心して生活できる安全な地域づくり」を進めるためには、共に生きるまちづくりの精神を養い、育んでいくとともに、県民参画による協働のもと、地域福祉を総合的に推進していくことが必要です。

本大会は、県内の社会福祉関係者が一堂に会し、こうした諸課題へ対応していくため、更なる連携強化を図るとともに、多年にわたり社会福祉の向上に尽くされた方々に感謝の意を表すことにより、社会福祉のより一層の発展に資することを目的として開催します。

## 2. 主 催

岡山県社会福祉協議会、岡山県共同募金会、岡山県民生委員児童委員協議会、岡山県身体障害者福祉連合会、岡山県老人クラブ連合会、岡山県母子寡婦福祉連合会、岡山県手をつなぐ育成会、山陽新聞社会事業団

## 3. 協 賛

岡山県、岡山県市長会、岡山県町村会

## 4. 後 援

岡山県教育委員会、朝日新聞岡山総局、共同通信社岡山支局、山陽新聞社、時事通信社岡山支局、中国新聞備後本社、日本経済新聞社岡山支局、毎日新聞岡山支局、読売新聞岡山支局、NHK岡山放送局、RSK山陽放送、RNC西日本放送、OHK岡山放送、KS B瀬戸内海放送、TSCテレビせとうち、岡山県ケーブルテレビ振興協議会（順不同）

## 5. 参 加 者

社会福祉関係者等 約 1,500 名

## 6. 開 催 日 時

平成 30 年 10 月 11 日（木） 13:00～15:40

## 7. 会 場

「岡山市民会館」 岡山市北区丸の内 2-1-1 TEL 086-223-2165

## 8. 日 程

(1) 受 付 (12:00～13:00)

(2) 開会・式典 (13:00～14:00)

- ・ 開 会 宣 言
- ・ 国 歌 斉 唱
- ・ 黙 とう
- ・ 開会あいさつ
- ・ 激励のこたば
- ・ 表 彰

岡山県、岡山県社会福祉協議会、岡山県共同募金会、岡山県民生委員児童委員協議会、岡山県身体障害者福祉連合会、岡山県老人クラブ連合会、岡山県母子寡婦福祉連合会、岡山県手をつなぐ育成会

- ・ お祝いのこたば
- ・ 来 賓 紹 介
- ・ 大 会 宣 言

～ 休 憩 ～

▼就労継続支援事業所等の製品販売コーナーへもお立ち寄りください▼

(3) 特別講演 (14:20～15:30)

「 大事なことから忘れなさい～迷える心に効く禅の教え～ 」

講師：松山 大耕 氏 (妙心寺退蔵院副住職)

(4) 閉 会

- ・ 閉会のこたば

## 9. 参加申込等

(1) 民生委員児童委員、社会福祉施設等の関係者は、市町村社会福祉協議会へ、岡山県身体障害者福祉連合会、岡山県老人クラブ連合会、岡山県母子寡婦福祉連合会、岡山県手をつなぐ育成会の関係者は、それぞれの団体へ9月10日(月)までにお申し込みください。

(2) 市町村社会福祉協議会及び県単位団体は、参加申込書に必要事項をご記入のうえ、9月14日(金)までに下記大会事務局へお申し込みください。

## 10. その他

台風接近等により、大会を中止する場合は、大会当日の10時までに岡山県社会福祉協議会ホームページの「県社協からのご案内」に掲載し、お知らせします。

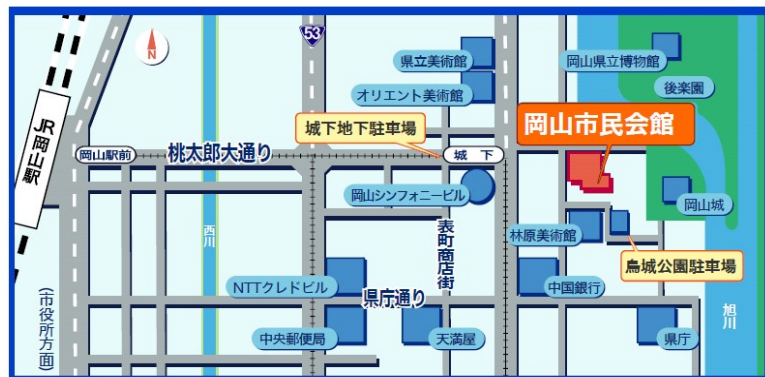
## 11. 大会事務局

岡山県社会福祉協議会 総務企画部 (担当：真壁)

〒700-0807 岡山市北区南方2丁目13-1 きらめきプラザ 3階

TEL 086-226-2822 FAX 086-227-3566

## 12. 会場案内図



### <交通機関のご案内>

- 岡山駅より1.2km
- (路面電車)東山行き  
岡山駅前乗車→城下(停留所)  
下車  
(下車後徒歩3分)
- 会場には駐車場がありません  
ので、公共交通機関をご利用  
ください。